

平成29年度事業報告書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区小見郷屋107番地2(新潟みずほ圏内)	電話番号 025(262)0155	代表者氏名 和田晋弥
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

2 法人の行う事業

※職員数はH30年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 川村雅代	職員5名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援50名 生活介護59名 短期入所・日中一時支援3名	施設長 渡辺幸治	職員45名 嘱託医1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援50名 生活介護59名 短期入所・日中一時支援4名	施設長 多賀邦夫	職員47名 嘱託医1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援50名 生活介護56名、 短期入所・日中一時支援3名	施設長 海老郁夫	職員41名 嘱託医1名
	工房はたや	就労支援事業B型24名 生活訓練6名 日中一時支援2名	所長 田中順	職員9名
	障がい者(児)生活支援センター わぁ〜らく	指定特定計画相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	所長 南美保	職員6名
	樫の木	もみじ4名 あじさい5名 CHみずき野老番館7名 CHみずき野武番館5名 さくら老番館6名 さくら式番館6名	管理者 多賀邦夫	職員29名
	西川まちなかさろん	地域活動支援センターⅢ型	所長 関谷愛子	職員3名
	みっと	居宅介護、同行援護、 新潟市移動支援	管理者 海老郁夫	職員3名

3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	平成29年4月1日	
評議員	真島福一	平成29年4月1日	
評議員	大嶋喜芳	平成29年4月1日	
評議員	小林建	平成29年4月1日	
評議員	矢部三次	平成29年4月1日	
評議員	吉田育子	平成29年4月1日	
評議員	佐藤久友己	平成29年4月1日	
理事	和田晋弥	平成29年6月28日	理事長
理事	塚田正幸	平成29年6月28日	
理事	野澤慎吾	平成29年6月28日	
理事	川村雅代	平成29年6月28日	常務理事
理事	渡辺幸治	平成29年6月28日	
理事	多賀邦夫	平成29年6月28日	
監事	小柴昭彦	平成29年6月28日	
監事	鈴木昭	平成29年6月28日	

4 事業概要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・自立訓練「工房はたや」、共同生活援助「樫の木」、相談支援「わあ〜らく」、地域活動支援センター「西川まちなかさろん」、居宅介護・移動支援「みっと」、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を経営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

平成29年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

第1 新潟みずほ福祉会

- 1 理事会を6回（内1回は決議の省略）、評議員会を2回開催した。（資料参照）
- 2 新潟みずほ園、第2みずほ園の給食外部委託開始。（入所3施設とも外部委託となる）
- 3 利用者及び職員の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 4 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 5 本部機能強化を目的に、全事業所事務員本部集結の基盤を整えた。
- 6 新潟市より平成28年度社会福祉施設等施設整備補助金23,100,000円の補助を受け、新潟市西区藤野木51番地に、当法人6棟目となるグループホーム「さくら式番館」を創設し、8月1日事業開始した（定員6名）。
- 7 法人の内部管理体制整備のため、さくらコンサルティング株式会社と契約を締結し、必要な項目の抽出と改善の方向性の検討を開始した。
- 8 地域における公益的取組
 - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
 - ・いがたセーフティネット事業
- 9 社会貢献活動
 - ・講師派遣（行政、社会福祉協議会、地域小学校、各種福祉機関研修）
 - ・課外授業受入（地域保育園、小学校、中学校）
 - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
 - ・施設開放、地域行事協賛等
- 10 利用者家族等から寄付金を受けた
- 11 本年度の苦情申し立ては1件
 - ・「新潟市中心障がい者等施設通所費助成事業」への対応に不備があり、対象者全員に3年間遡って弁償した。対象者44名。弁償額461,742円

5 理事会・評議員会開催状況

(1) 理 事 会

日時及び場所	審 議 事 項
平成 29 年 5 月 29 日 10:00～11:00 第2みずほ園	1 平成 28 年度事業報告及び決算認定 2 定款細則の一部改正 3 経理規程の一部改正 4 運営規程の一部改正 5 社会福祉充実残額の承認 6 入札案件 7 理事・監事候補者推薦
平成 29 年 6 月 28 日 15:40～16:00 新潟東映ホテル	1 理事長の選定 2 常務理事（業務執行理事）の選定 3 定款の一部変更
平成 29 年 11 月 21 日 10:50～11:25 第2みずほ園	1 「定款変更」評議員会への議案提出 2 「内部管理体制構築」に向けた検討 3 「新潟市障がい者基幹相談センター西」代表法人受託
平成 29 年 12 月 5 日 10:00～11:00 第2みずほ園	1 平成 30 年度障がい福祉施設整備計画 2 平成 29 年度第 1 次収支補正予算
平成 30 年 2 月 6 日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	内部管理体制整備に向けたコンサルタント導入 ・みらいコンサルティング株式会社 ・平成 30 年 2 月契約
平成 30 年 3 月 23 日 10:00～11:15 第2みずほ園	1 運営規定の一部改訂 2 就業規則の全面改訂 3 給与規程の一部改訂 4 旅費規程の一部改訂 5 平成 29 年度第 2 次収支補正予算 6 平成 30 年度事業計画・収支予算

(2) 評 議 員 会

日時及び場所	審 議 事 項
平成 29 年 6 月 28 日 15:00～15:40 新潟東映ホテル	1 「役員報酬規程」 2 平成 28 年度事業報告及び決算認定 3 理事・監事の選任 4 定款の一部変更
平成 29 年 11 月 21 日 11:00～11:30 第2みずほ園	1 定款の一部変更

【新潟みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～45名・区分5～6名 平均区分：5.9
利用率：施設入所支援98.6%・生活介護95.9%・短期入所88.5%
- 2 利用者の動向
退所2名（医療2名）、入所2名
利用者の年齢は平均62歳11ヶ月（男性65歳3ヶ月、女性60歳6ヶ月）、最年少41歳、最年長88歳で、65歳以上の方は16名となっている。
- 3 平成29年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 一般浴室改修工事	11,016,000円
(2) 特殊浴槽入替え	7,516,800円（リース）
(3) シャワーバス（ミスト浴）の導入	7,419,000円（リース）
(4) 居住棟廊下空調新設工事	2,803,680円
(5) 高圧ケーブル開閉器取替工事	1,360,800円
(6) 床走行リフト導入	714,000円（リース）
(7) 女性トイレエアコン入替工事	561,600円
(8) 火災報知器受信機取替工事	1,134,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 969名
 - ② 日中一時支援 延べ 2名
 - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
 - (3) 実習生受け入れ状況 16名、延べ 148日
 - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 232名
 - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流
 - (6) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 29. 7. 11	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5名
8. 16	夕 涼 み 会	園 前 庭	利用者、職員、 ボランティア	70
9. 24	みずほ福祉会まつり	三 施 設	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	580
10. 3	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5
10. 10	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	5
12. 20	忘 年 会	園 内	利用者、職員	86
平成 30. 1. 17	新 年 会	園 内	利用者、職員	76

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 29. 5. 10 ～6. 12	胸部 X線間接撮影	信楽園あか つか診療所	利 用 者	51名	信楽園あかつか診 療所他
5. 31	職員定期健康診断	第2みずほ園	職 員	42	医学子防協会
6. 29	耳 鼻 科 検 診	園 内	利用者	51	しおかぜ医院
8. 31 0	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	51	嘱託医
5. 17 10. 4	内 科 検 診	園 内	利 用 者	51 51	嘱託医
11. 15	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	51 44	嘱託医
12. 27	職員内科検診	園 内	直接処遇 職 員	37	嘱託医
通年	歯 科 検 診	園 内	利 用 者	41	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 29. 5. 21 10:10～	地域消防団合同 避難訓練	11分55秒	利用者・職員 39名	第一避難場所
9. 13 13:35～	水害避難訓練	14分29秒	利用者・職員 39	食堂
11. 22 10:30～	三園合同訓練 消防署立会	8分23秒	利用者・職員 46	各居住棟 廊下奥
平成 29. 2. 21 14:00～	地震想定訓練	15分35秒	利用者・職員 51	ふれあい ルーム

(2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
平成 29. 6. 12 15:00～	30分以内の返信者 12名	事前連絡なし
12. 13 15:00～	30分以内の返信者 11名	事前連絡なし
平成 30. 3. 14 15:00～	24時間以内の返信者 31名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 29. 4. 28 15:30～	防災研修	職員 2名	
7. 19 10:30～	消火器訓練	職員 2名	
8. 9 14:50～	放水訓練	職員 4名	
10. 26 15:00～	防災研修	職員 2名	
平成 30. 1. 24 15:00～	防災研修	職員・利用者 31名	防災DVD視聴

【みのり園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分 6～33 名、区分 5～11 名、区分 4～6 名 平均区分：5.5
利用率：施設入所支援 96.8%・生活介護 99.8%・短期入所 102.6%
- 2 利用者の動向
入退所なし。
利用者の年齢は平均 52 歳 7 ヶ月（男性 52 歳、女性 53 歳 3 ヶ月）、最年少は 22 歳、最年長は 78 歳で、65 歳以上の方は 12 名となっている。
- 3 平成 29 年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 施設生活に潤いと変化を与えるため、各種の行事を実施した。
 - (6) 利用者の日中活動として、歩行、廃油石鹸、アルミ缶つぶし、サシェ（匂い袋）加工、農園芸、創作活動（表現）を実施した。
 - (7) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (8) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (9) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (10) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
 - (1) 利用者居室の個室化改修工事 7,884,000 円
 - (2) 自動火災通報装置・直接通報受診工事 972,000 円
 - (3) 外構舗装（アスファルト舗装）工事 950,400 円
 - (4) 旧アルミ缶倉庫解体撤去工事 658,800 円
 - (5) 防犯カメラを職員玄関に設置
（H29 年度社会福祉基金運用益活用助成事業） 192,780 円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,455 名
 - ② 日中一時支援 延べ 147 名
 - (2) 実習生の受け入れ状況 12 名 延べ 138 日
 - (3) ボランティアの受け入れ状況 延べ 247 名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園、学校との交流
 - (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 29. 4. 20	観 桜 会 ・ 昼 食 会 ド ラ イ ブ	園 内 市 内	利用者、職員	82名
			利用者、職員	41
6. 19	レクリエーション 交 流 会	園 内	利用者、職員、家族 新潟大学学生、実習生	216
7. 7	七 夕	園 内	利用者、職員、ボランティア	51
9. 24	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	580
10. 9	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	6
12. 21	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	82
平成 30. 1. 10	新 年 会	園 内	利用者、職員、家族	80
2. 2	節 分	園 内	利用者、職員	76
3. 2	ひ な ま つ り	園 内	利用者、職員、ボランティア	50

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 29. 5. 25	胸部 X 線間接撮影	園 外	利 用 者	1	あかつか診療所
5. 22	利用者健康診断 胸部 X 線間接撮影	園 内	利 用 者	56	健康医学予防協会
					健康医学予防協会
5. 31	職員定期健康診断	第 2 みずほ園	職 員	43	健康医学予防協会
6. 29	耳 鼻 科 検 診	園 内	利 用 者	49	しおかぜ医院
7. 20	眼 科 検 診	園 内	利 用 者	50	内野おがわ医院
9. 29	基 本 検 診	園 内	利 用 者	48	囀託医
10. 4	歯 科 検 診	園 内	利 用 者	48	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師
11. 14	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者	54	囀託医
			職 員	47	
平成 30. 3. 14	内 科 検 診	園 内	利 用 者	49	囀託医
			職 員	42	

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 29. 5. 21 10:10～	地域消防団合同 避難訓練	13分 5秒	利用者・職員 53名	第二避難場所
9. 14 10:30～	日中避難訓練	10分 23秒	利用者・職員 56名	体育館
11. 22 10:30～	三園合同訓練 消防署立会い	10分 48秒	利用者・職員 60	体育館
平成 30. 2. 16 11:00～	日中地震訓練	8分 10秒	利用者・職員	体育館
3. 2011:00～	日中地震訓練	11分 30秒	利用者・職員 69	体育館

(2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
平成 28. 6. 13 19:00～	21分 30秒	事前連絡なし
12. 14 19:00～	37分 5秒	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 29. 4. 18 15:00～	防災研修	職員 10名	防災機器取扱い
7. 19 10:30～	消化器訓練	職員 15名	消化器取扱い
11. 29 10:00～	非常食体験	利用者・職員 71名	
平成 30. 1. 27 15:00～	防災研修	利用者、職員 20名	防災に関する映像を上映

〔第2みずほ園〕

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～40名・区分5～6名・区分4～5名 平均区分：5.7
利用率：施設入所支援99.52％・生活介護99.97％・短期入所99.81％
- 2 利用者の動向
退所3名(他施設1名、死亡2名)、入所3名
利用者の年齢は平均58歳4ヶ月(男性59歳5ヶ月、女性57歳3ヶ月)
最年少20歳2ヶ月、最年長は85歳、65歳以上は16名となっている。
- 3 平成29年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
 - (5) 行事、サークル活動を実施し、生活の潤いに努めた。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の観点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 衛生デジタルBGM導入	2,700円/月
(2) 廊下壁塗装工事	1,188,000円
(3) 玄関回り整備	314,376円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,099名
 - ② 日中一時支援 延べ 14名
 - (2) 実習生受け入れ状況 16名 延べ 135日
 - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ 438名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流
 - (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 29. 7. 11	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5名
7. 22	納 涼 会	園 前 庭	利用者、職員、家族	97
9. 24	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	580
10. 3	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	8
10. 10	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員、地域住民	5
12. 20	忘 年 会	園 内	利用者、職員	75
平成 30. 1. 17	新 年 会	園 内	利用者、職員	73

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 29. 5. 17	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	39	嘱託医、アルプ
6. 13 ～6. 29	胸部 X 線間接撮影	園 外	利用者	37	あかつか診療所他
5. 31	職員定期健康診断	園 内	職 員	51	健康医学予防協会
6. 21	内 科 検 診	園 内	利用者	49	嘱託医
10. 25	肺炎球菌予防接種	園 内	利用者 65 歳以上	5	嘱託医
9. 21	歯 科 検 診	園 内	利用者	43	日本歯科大新潟歯 学部歯科医師
11. 8	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	37	嘱託医
12. 6	内 科 検 診	園 内	利用者	46	嘱託医
平成 30. 1. 31	職員内科検診	園 内	直接処遇 職 員	33	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 29. 5. 21 10:00～	地域消防団合同 避難訓練	17分36秒	利用者・職員 56名	第一避難場所
11. 22 10:30～	三園合同訓練 消防署立会い	11分57秒	利用者・職員 63	第一避難場所

(2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
平成 29. 6. 13 19:30～	11分27秒～15分32秒	ホットライン 事前連絡あり
12. 14 19:30～	8分3秒～33分7秒	ホットライン 事前連絡あり

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 29. 4 月	防災研修	新任職員	防災設備、避難経路説明
7. 19 10:30～	消火器訓練	職員 2名	
平成 30. 3. 28 14:00～	消火器訓練 (水消火器)	職員 6名	

〔 工房はたや 〕

- 1 多機能型事業所〔就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練）事業〕として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向
男性1名退所、男性3名、女性1名が利用を開始。
通所利用登録者39名（男性19名、女性20名）※新潟市35名 燕市4名
登録利用者の平均年齢は38.0歳、最年少18歳 最年長70歳となっている。
- 3 平成29年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 自主製品として、大豆まるごと豆腐『豆天使』製造・資源回収等を実施した。
 - (4) 授産作業として、箱折り・裁断・包装・委託作業（新潟県・新潟市）及び自主製品・仕入商品の販売などを実施した。
 - (5) 法人入所施設にて委託作業（除草、清掃などの環境整備）を実施した。
 - (6) 園芸作業、清掃作業の施設外就労を実施した。
- 4 作業環境整備として次の事業を行った。
 - (1) 大豆丸ごと豆乳プラントオーバーホール 972,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 地元西川地域の一員として、西川桜まつりや西川まつり、時代激まつり、百緑市、地元保育園・小学校文化祭等に積極的に参加した。
また、地域への美化活動、食品衛生協会の越後曽根駅清掃、地域へ戸別訪問して資源回収等の活動を行った。
 - (2) 出張販売・イベント参加
共生フォーラム in 西蒲、わらアート祭、蒲原まつり、潟東カモンかもねぎ祭り、特別支援学校文化祭、畑やかとうふあーむ感謝祭 他多数
 - (3) 日中一時支援受け入れ状況 4名 延べ42日
 - (4) 実習の受け入れ状況
 - ① 障がい当事者 2名 延べ15日
 - ② 短大生実習等 7名 延べ52日
 - (5) ボランティア受け入れ状況 延べ39名
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

[障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく]

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		18	24	22	23	15	20	22	33	16	10	11	21	235	505
	モニタリング		22	21	17	17	36	19	21	20	29	23	24	21	270	
児	計画		6	8	9	5	0	5	1	1	1	5	6	4	51	97
	モニタリング		5	0	3	4	4	6	4	4	3	3	6	4	46	

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数：391名（内、児童45名）※平成30年3月末日現在
内、新規契約者：17名（内、児童5名）

(2) 基本相談含む相談および支援等実績（延件数）：年間5,505件（内、児童850件）

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 1件（退院）、地域定着 1件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター

新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として
協定を結び、相談員1名、障がい児支援コーディネーター1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人

社会福祉法人 自立生活福祉会（代表法人）、社会福祉法人 新潟しなの福祉会
社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市（平成29年4月1日～平成30年3月31日、実績なし）
他 燕市（実績2件）、魚沼市（実績1件）

4 地域での啓発活動

(1) 主催企画：地域の茶の間 さろん「わぁ〜らく」

毎月1回、第3土曜日を目途に定例開催（偶数月ミュージックセラピー、奇数月
ポッチャもしくはカーリンコン）。平成29年度は12回開催で、延べ116名参加。

(2) 共催企画：西蒲区共生フォーラム（平成16年度から14年連続開催）

『共生フォーラム in 西蒲』の開催に事務局として貢献。※参加者 約220名。

(3) 地域生活支援ネットワーク形成

新潟市西蒲区地域自立支援協議会、西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画
推進委員会、県立巻総合高等学校学校評議員、新潟市南部地区ソーシャルワーカー連絡
会、にしかわねっと等に参加し、ネットワーク形成に尽力した。

〔 檜の木 〕

1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分：区分 6～1 名、区分 5～4 名、区分 4～5 名、区分 3～14 名
区分 2～5 名、区分 1 以下～3 名 平均区分：3.1

利用率 93.9%

2 利用者の動向

退所 3 名 入所 6 名

利用者の年齢は平均 51 歳 3 ヶ月（男性 45 歳 7 ヶ月、女性 56 歳 6 ヶ月）

最年少は 18 歳、最年長は 68 歳で、65 歳以上の方は 4 名となっている。

3 平成 29 年度の取り組み

- (1) 「もみじ」（定員 4 名）、「あじさい」（定員 5 名）、「ケアホームみずき野老番館」（定員 7 名）、「ケアホームみずき野老番館」（定員 5 名）、「さくら老番館」（定員 6 名）「さくら式番館」（定員 6 名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
- (2) 8 月 1 日より新しく「さくら式番館」（定員 6 名）を開設した。
創設費 46,183,680 円（平成 28 年度社会福祉施設等施設整備費国庫補助金）
- (3) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気を大切にし、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
- (4) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。
- (5) 「さくら式番館」物入れプレハブの設置等実施し環境整備に努めた。
- (6) 地域の中のグループホームとして、地域行事の催し物に参加した。
- (7) 防災対策として、各ホームごとに避難訓練を実施し、地域の防災訓練にも参加した。
もみじ、あじさいに自動火災通報装置・直接通報受信を設置した。 907,200 円
- (8) 職員の資質向上のため他事業所のグループホーム施設見学を実施した。

【 地域活動支援センター「西川まちなかさろん」 】

1 地域活動支援センター事業

(1) 平成23年6月1日から新潟市の補助金を受け、新潟市西蒲区曾根223に地域活動支援センター「西川まちなかさろん」を開所、事業継続。

(2) 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ 人員	215	203	220	207	215	217	215	202	201	167	185	210	2,457

(動向) 4月登録者20名 途中利用中止1名 新規利用登録者2名

2 平成29年度活動内容

- (1) 地域の茶の間として活用した。
- (2) 喫茶業務を行った。(平成30年2月末に中止)
- (3) 商品の販売及びタオル包装等の委託作業を実施した。
- (4) 地域キャラクターを活用した商品作りの製造販売を行った。
- (5) 自主製品(手芸)試作、製作販売を行った。
- (6) 社会体験活動や季節行事を行い、自立支援・活動の充実を図った。

3 地域への貢献活動

- (1) 曾根小学校花壇整備協力、美化活動等の活動を行った。
- (2) 曾根小学校の校外学習に協力した。
- (3) 西川地域の一員として、西川桜まつり、百緑市、西川まつり傘ぼこ人形作りおよびまつり行列(子ども傘ぼこの持ち手、山車引き)、越後にしかわ時代激まつりに参加した。
- (4) 講師を招いての創作ワークショップ『ほこほこ*あへと』を開催した(2回)。

4 ギャラリー、店舗の利用状況

- (1) 手芸作品展(1回)、絵画・貼り絵展(3回)、他事業所の作品展(3回)、写真展(2回)、当所利用者作品展で使用した。
- (2) サロンコンサート、ヨガ教室、さろんマジック、編み物教室、地域の茶の間『さろんわあへらく』、町部サロン、ワークショップで使用した。

[みっと]

1 活動内容

- (1) 利用者（児）が居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援した。
- (2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、社会地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。
- (3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。

2 活動報告

(1) 居宅介護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	10人	10	9	9	10	8	11	15	13	12	13	13	133
支援時間	4時間40分	4時間25分	4時間40分	4時間40分	4時間40分	3時間30分	5時間25分	8時間30分	8時間40分	7時間50分	8時間25分	7時間25分	72時間50分

(2) 同行援護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	10人	12	11	12	9	13	16	11	8	9	13	14	138
支援時間	5時間10分	4時間35分	4時間5分	4時間5分	4時間5分	4時間30分	4時間40分	3時間15分	2時間15分	2時間45分	4時間15分	6時間25分	50時間5分

(3) 移動支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	127人	132	147	135	105	126	144	135	130	119	124	170	1,594
支援時間	136時間40分	126時間35分	142時間10分	127時間15分	112時間40分	114時間	143時間15分	140時間5分	139時間55分	125時間	116時間15分	163時間	1586時間50分

(4) 福祉有償運送事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	137人	150	168	149	113	143	154	140	150	132	145	180	1,761
車両運行時間	58時間55分	59時間55分	64時間35分	58時間35分	50時間	57時間15分	58時間40分	56時間30分	56時間55分	54時間50分	57時間20分	65時間25分	698時間55分
運行距離	2332km	3,378	2,613	2,233	1,950	2,103	2,505	2,254	2,180	2,032	2,169	2,652	28,401